

やまなし 市議会だより

平成27年 8月21日

第42号



(光明保育園)

**18歳未満の子どもを扶養している世帯に商品券を交付する
子育て世帯支援商品券配布事業、JAフルーツ山梨加納岩共選
所を核とした共選所再編事業、災害時に避難所へ誘導するた
めの誘導灯整備などに伴う、一般会計補正予算が可決される。**

平成27年6月定例会は、6月1日に招集され、26日までの26日間の会期で開催されました。この定例会では、補正予算や条例改正など市長提出議案9件を審議し、すべての議案が原案のとおり承認・可決・同意となりました。なお、請願については1件不採択となりました。

おもな内容

議案等審議結果	2	常任委員会の審査	8～9
議会構成	3	議会活動日誌・編集後記	10
市政一般質問	3～8		

[発行] 山梨市議会 〒405-8501
[発行者] 山梨市議会議長

山梨県山梨市小原西843番地 TEL0553-22-1111(代)
[編集] やまなし市議会だより編集委員会

平成27年6月定例会議案等審議結果

議案第56号 専決処分の承認を求めることについて (山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について)

介護保険法施行令等の一部を改正する政令等が公布され、低所得者の保険料の軽減を行う仕組みが設けられたことに伴い、第1段階に該当する被保険者に係る保険料率を平成27年度から平成29年度までの間、3万300円を2万7,270円に引き下げる改正を、地方自治法第179条第1項の規定により、平成27年4月15日に専決処分したものを同条第3項の規定により報告し承認を求めるもので、**原案のとおり承認となりました。**

6月定例会議案等審議結果

(賛：原案に賛成 反：原案に反対 欠：欠席) ※木内健司副議長を除く

種別	議案番号	議案名	議員名														審議結果			
			古屋忠城	根津和博	武井寿幸	三枝正文	乙黒泰樹	矢崎和也	土屋裕紀	村田浩	深沢敏彦	大竹裕子	大村政啓	飯嶋賢一	古屋弘和	吉田昭男		雨宮巧	小野鈴枝	古屋雅夫
専決処分	第53号	専決処分の承認を求めることについて (山梨市税条例等の一部を改正する条例について)																		承認
	第54号	専決処分の承認を求めることについて (山梨市都市計画税条例の一部を改正する条例について)	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛		
	第55号	専決処分の承認を求めることについて (山梨市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例について)																		
	第56号	専決処分の承認を求めることについて (山梨市介護保険条例の一部を改正する条例について)																		
改条正例	第57号	山梨市税条例の一部を改正する条例について	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決	
補正予算	第58号	平成27年度山梨市一般会計補正予算(第1号)	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決	
	第59号	平成27年度山梨市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)																		
改条正例	第60号	山梨市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決	
人事	第61号	監査委員の選任について同意を求める件	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	同意	
請願	請願第1号	請願書 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	欠	反	反	反	反	反	反	賛	賛	反	反	反	反	賛	賛	賛	不採択	

市政一般質問 (代表・一般)

平成27年6月定例会の市政一般質問が6月18日・19日に行われ、代表質問を3人、一般質問を8人の議員が行い、市政全般について市の考えをたずねました。質問と答弁の要旨はつぎのとおりです。

代表質問

市民の会

村田 浩 議員



〈主な質問と答弁〉

問 LED防犯灯設置に対する支援制度について

LED化により区が負担している防犯灯の電気料金を節約したいと考える区は多いと聞かすが、区が負担する資金を一旦市が貸し付ける形で助成し、LED化により浮いた電気料で返済していくなどの制度を導入し、市内の防犯灯のLED化を促進したらと思うがいかがか。

答 総務課長 古屋一彦
設置工事費に係る資金の

貸付制度については、補助金の要望状況を見ながら、また貸付資金の調達及び貸付金の回収方法等を踏まえ、制度として実現可能か今後研究していく。

問 グリル・パイナリーの廃止について

多くの団体や個人の利用者がいるにも拘わらず、グリル・パイナリーを終了する理由を伺いたい。

答 市長 望月清賢
社会情勢の変化等により、グリル・パイナリーの利用者は減少し、平成19年以降結婚式は行われず、レストランの営業時間も短縮されている。市が出資する第三セクターとしての役割も果たしてきたと考える。また、新図書館整備において、蔵書数を増やし図書館サービスを充実させるために、レストランスペースを図書館として整備することとした。

問 牧丘・三富地域の小学校統合について

牧丘・三富地域の小学校の統合が決まったが、子どもたちの人間教育の場をどのように整えていき、どのような学校を作っていくのか考えを伺いたい。

答 教育長 丸山森人

基本的な柱の一つは「適正規模の学級で、子どもの自立とより良い学びができる学校をつくる」であり、多様な意見を尊重した授業づくりや体育の球技等の集団学習を取り入れた授業づくり、各地域の歴史・文化などを生かした教育課程の編成にも取り組んでいく。二つ目に「保護者・地域と学校が連携できる学校づくりを進める」ということであり、地域が学校に関わる仕組みづくりを行い、新しい学校がコミュニティの核となるようにしていく。また、統合した小学校と笛川中学校の連携を一層進める「小中連携教育」の充実を図っていく。

問 学校給食センターの基本的な考え方について

本年2月に学校給食施設の在り方検討委員会として、検討すべき課題及び主たる意見を示したところであるが、学校給食センター建設に対しての考え方を伺いたい。

答 教育長 丸山森人

議会から示された学校給食施設の在り方検討委員会の提言の検討結果と、財政的な側面も十分考慮する中、学校給食の安全と子どもの命と健

康を守る主目的により、学校給食の在り方として、学校給食センター建設が最善だと考えている。

〈その他の質問〉●地方創生に対する市の考え方について ●太陽光発電施設に関する法的規制について ●マイナンバー制度導入に伴うセキュリティ対策について ●産婦人科医院の移転に伴う基本計画について

山友会

根津和博 議員



〈主な質問と答弁〉

問 ど根性ガエルを活用したまちづくりについて

本市出身の吉沢やすみ先生原作の「ど根性ガエル」の実写版が、7月からの日本テレビ系土曜ドラマとして放映されることが決定した。山梨市をPRできる千載一遇のチャンスだと思うが、ど根性ガエルを絡めたまちづくりについて考えを伺いたい。

答 市長 望月清賢

本市としてもドラマ化は大変喜ばしいことであり、こ

の放送を機に本市を全国に知っていただく良い機会と捉えている。そこで、観光振興や賑わいの創出、地方創生の一環として、今後の定住人口の増加へ繋げることを目的に、吉沢やすみさん所属の有限会社オフィス安井と連携し「ど根性ガエル」での、まちづくりの推進を図っていく。

具体的には、市職員の名刺にキャラクターを使用して原作者が本市出身であること等をPRすることや、ふるさと納税の贈呈品にサイン入りTシャツと色紙のセットを新たに加えていく。

問 ふるさと納税の推進について

本市も6月1日よりふるさと特産品の贈呈を開始したが、贈呈品を更に良いものにするためにも、市内特産品を生産・製造する皆様からふるさと特産品の公募をする制度を創設してはどうか。

答 市長 望月清賢

ふるさと納税の状況については、6月15日までの半月で、寄附申込者は2千166件、金額は2千700万円余であり、昨年度のふるさと納税44件497万円余を大きく上回り、今後もこの良い状況

が続くことを強く願っている。特産品の公募制度については、多くの課題もあるが、市からの贈呈品としての品質と安定した供給などを最重要とし、慎重に検討していく。

問 小原スポーツ広場の運用について

①グラウンド面が柔らかく、競技に支障が出ているとの話を聞くが、早急に対策について検証し、必要な改善対策を講じられたいかがか。②AED付き自動販売機の設置を検討していただきたいかがか。

③防災機能の周知、各種設備の稼働点検等のため、施設利用者の防災訓練を実施してはいいかがか。

答 生涯学習課長 中村貴仁

①昨年4月の供用開始以来、多くの皆様に利用していただいている。利用頻度が高い北側は、かなり硬くなっている状況である。現在、できるだけ南側を使っていただけるよう利用者会議などでお願いとするとともに、利用のない時間帯にローラー転圧し、整備に努めている。②広場の供用開始に併せて設置検討したが、盗難の危険があるため管理者がいる室内への設置をお願いしたいとの話があり、A

ED本体だけを無償貸与していただき利用している。今後利用者には、平日の昼間は市役所庁舎東館案内窓口にて、休日及び夜間は庁舎西館北側出入口で借りられることを周知していく。③災害発生時に利用するため、広く市民への周知が必要だと考えている。防災機能の周知や各設備の点検及び防災訓練については、広場を所管する生涯学習課と防災担当である総務課で連携して進めていく。

＜その他の質問＞●市民会館耐震及び大規模改修、新図書館整備について●ヒルクライム大会について●水道事業施策について●マイナンバー制度について●子育て世帯臨時特例給付金、子育て世帯支援商品券配布事業について●世界農業遺産登録の取組について

乙 黒 泰 樹 議員



＜主な質問と答弁＞

問 本市の大型事業の財源について

望月市政において大型事業が着々と進められている。国からの補助金も厳しくなる中で事業に関わる本市の財源について今後の展望を伺いたい。

答 市長 望月清賢

昨年策定したチャレンジミッションで市街地や生活インフラの着実な整備を掲げている。国等からの補助金額が減少し市の創意工夫が求められる中、山梨市駅南地域整備事業では、南北地域の融合とバリアフリー基本構想を基に交通結節点の改築という要素を加え、他市との差別化を図っている。また、産婦人科施設の整備には産科医療機関整備の補助金確保に努めている。市債は合併特例債を活用し、各種補助金を複合的に取り込み「ひと・まち・しごと創生」に関する公共整備事業への支援制度を研究し必要な財源確保に努めていく。

問 本市の今後の教育方針について

本年4月の教育委員会制度改革によって、教育に対する首長の意思反映が強まった。今後の本市における首長と教育委員会の役割と、総合教育会議の開催等、教育方針についてその詳細を伺いたい。

答 市長 望月清賢

法律改正により、地方教育行政における首長の責任が明確化され、幼児教育と保育の一体的な推進、教育行政と福祉・雇用・地域振興等他分野との連携が期待される。本市では「みんなのできる夢を持つて子育てできるまち山梨市」の実現を掲げ、子育て及び学習環境の充実を進め、教育委員会と連携し意思の疎通を図り、民意を反映した教育行政を推進するため「総合教育会議」を開催する。

問 市立図書館休館中の図書の貸出しについて

市民会館内の図書館は8月末から耐震工事の期間中休館となるが、休館中も他施設を利用して貸出しができないのか伺いたい。

答 市長 望月清賢

休館期間が1年以上と想定されるため、利用者から図書の貸出の要望がある。夢わーく山梨の図書室には1万冊の配架が可能であるので、図書館システムが利用できれば図書の貸出し可能と考えている。指定管理者である山梨市商工会と協議し今後詳細を検討する。

問 重度心身障害者医療費の窓口無料化について

昨年11月より重度心身障害者の医療費窓口無料化が変更となり、子ども医療費が中学生まで無料なのと比較し、元に戻して欲しいとの要望が多いが本市の見解を伺いたい。

答 市長 望月清賢

国は窓口無料方式が医療費が増加するとして本来は国が支払うべき国民健康保険会計負担金を支払わないというペナルティを課しており、県及び市町村では一旦窓口で支払い、後に全額助成する自動還付方式へ変更した。そのため子ども医療費の助成方法が健常児と障害児では異なっている。全国では子ども医療費助成制度を優先し、障害児でも窓口無料化している自治体もあり、今後市長会を通じて県や国に要望していく。

＜その他の質問＞●保育園・幼稚園の在り方について●家庭教育支援法の制定について●マイナンバー制度への対応について●スマートフォン利用におけるルール策定について●ヒルクライムレースの大会開催について●本市の認知症への支援と対策について●小中学校プール施設について

●保育園・幼稚園の在り方について●家庭教育支援法の制定について●マイナンバー制度への対応について●スマートフォン利用におけるルール策定について●ヒルクライムレースの大会開催について●本市の認知症への支援と対策について●小中学校プール施設について

一般質問

市民の会

古屋 雅夫 議員



〈主な質問と答弁〉

問 畑地帯総合整備事業の推進に向けて

本事業は日下部、万力、岩手、上栗原の地域において平成22年度から平成30年度にかけて、国、県、市、地元地域が一体となり総事業費66億4千6百万円をかけての農業の生産振興等を目的とした事業であるが、事業全体の進捗率は約39%に止まり、国や県等に対し、予算要望等働きかけが必要である。市長の考えを伺いたい。

答 市長 望月清賢

平成27年度は予算要望に対し平均で約24%削減となった。計画路線上の解決する諸問題等もあるが事業期間を3年から4年の延伸を要望するとともに、予算要求も強く働きかけていきたい。

問 今後のごみ収集体制並びにごみの減量化、資源化

対策について

①平成29年4月供用開始予定の甲府峡東ごみ処理施設に伴う、粗大ゴミ等の中継施設の設置の考え方を伺いたい。②市の一般廃棄物処理基本計画に基づく、家庭系排出ゴミの量の削減、資源化、リサイクル率の向上対策について伺いたい。

答 市長 望月清賢

①粗大ゴミの中継施設の設置場所については市内1カ所を選定したいと考えている。②家庭系排出ゴミの量は基本年度である平成19年度に対し平成26年度は607t減で、年々減少しているが平成30年度に掲げた目標値達成には及ばない状況である。また、資源物のリサイクル量は平成19年度と平成26年度を比較すると351tの減でリサイクル率は18%であり、目標値として掲げた24%以上に達成するのは難しい状況である。今後市民に対し啓発活動を通じてお願いをしていく。

〈その他の質問〉

●まちづくり推進職員派遣・「地域づくり制度」について ●超高齢社会における地域福祉事業の充実について ●住宅火災を想定した地域の危機管理体制の構築

築について
日本共産党

吉田 昭男 議員



〈主な質問と答弁〉

問 プレミアム商品券取扱事業者を公平に

①国の制度目的に沿って、市内全ての事業者で商品券を取り扱えるよう改善を求めたい。②事業者を周知するため市民の声を取り上げると共に、制度の周知を図るように求めるかがか。

答 市長 望月清賢

①事業途中で取扱店の規定を変え、全ての事業者を取扱店とすることは混乱を招く恐れがあり困難である。②6月号の市広報誌、商工会ホームページと併せ、新聞折り込みチラシで広く周知している。

問 小学校統合問題について

①4校統合決定において小規模校の教育的見地、大切な社会のインフラであることなど十分な検討はなされたのか。②小規模校を存続させる場合

合、休校した場合の再開、特定校としての存続などの選択肢は検討されたのか。③統合によるスクールバス通学の弊害について伺いたい。

答 教育長 丸山森人

①7回にわたる検討委員会を実施し、各小学校単位での説明会、保護者や地域住民の意見を聞き、最終的に統合するという意見に集約した。②小規模校教育環境検討委員会で、3年間検討を行ってきた。③授業終了からスクールバス乗車時間まで余裕をもたせ、集団での外遊びの時間、放課後の補習の時間等の確保など可能になるよう検討していく。

〈その他の質問〉

●住宅用火災警報器設置促進について ●生ごみの有効活用と指定ゴミ袋について

新翔会
武井 寿幸 議員



〈主な質問と答弁〉

問 ニホンジカの被害対策について

ニホンジカが非常に増えてきているが、その被害対策について伺いたい。

答 市長 望月清賢

県猟友会のほか知事から認定を受けた民間業者なども捕獲できる対策を検討している。また、昨年、柚口地区へ設置した囲いわなにより7頭の捕獲実績があるが、設置場所や管理監視体制など地元の協力が整えば今後も設置していきたい。

問 環境に配慮した本市の取組について

①3大公共料金の削減に向けた取組について伺いたい。②資源ゴミを生かすための行政指導の対応について伺いたい。③紙使用量削減の進展について伺いたい。

答 市長 望月清賢

①市民の方には広報等での省エネ、節電の呼びかけ等を行い普及啓発に努めている。②ごみ減量化推進講習会を実施している。今後も、減量化及び啓発活動に取組んでいく。

③市が市民と行う会議等のペーパーレス化には課題が多く、まずは庁内の会議のペー

パースレス化に向けて検討していく。

問 本市に専用ヘリポートの建設について

本市のドクターヘリのランデブーポイントの多くは、地表面が土と砂のため事前に散水をしなければならぬため、専用ヘリポートを野背坂へ向うフルツライン沿いの市有地へ建設を望むかがか。

答 総務課長 古屋一彦
航空法による設置基準や安全対策のルールがある事、ドクターヘリの市内への出動頻度も勘案する中で今後の研究課題としたい。

問 (その他の質問) ●公用車の有効活用への取組について

山友会

飯嶋賢一 議員



(主な質問と答弁)

問 西関東連絡道路の「岩手ランプ」の渋滞緩和について

「岩手ランプ」が開通した場合の渋滞緩和策について伺いたい。

答 建設課長 清水一彦
岩手ランプ付近の交差点状況については三富方面から現道を南下する車両等については信号機を通過することなく国道140号で分岐することから渋滞の発生はないと考えている。しかしながら渋滞が発生した場合には信号機の時間調整等について警察と協議する。

問 岩手橋西詰交差点付近から甲州市にアクセスする道路計画について進捗状況を知りたい。

答 建設課長 清水一彦
甲州市と連携を図り、机上ではあるがアクセス道路の概略ルートを作成中である。

問 森林セラピー基地西沢溪谷の現状及び今後の展望について

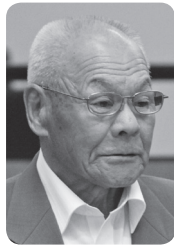
西沢溪谷が「森林セラピー基地」として認定を受けてから8年が経過したが、現状と今後の展望について伺いたい。

答 観光工課長 網野次男
体験者数は平成24年度には年間352人と順調に増加していたが、その後大雪などの影響もあり伸び悩んでいる。今後、県外の観光客の取り込みのために森林セラピー推進協議会等と連携し、森林

セラピー体験を軸とした記念ツアールの実施等を予定し、今まで以上に森林セラピーの普及に力を注いでいきたいと考える。

(その他の質問) ●山梨市マインクロ水力発電についての効果と、今後の計画について ●観光プロモーション活動の現状、及び訪日外国人に対する対応について

山友会
大村政啓 議員



(主な質問と答弁)

問 第1次山梨市総合計画について(実施計画平成27年度～平成28年度)

①単年度別事業費内訳は。②財源内訳について③合併特例債・過疎債の充当概算額について④今年度事業の消化と受入れの見通しについて4点伺いたい。

答 市長 望月清賢
①一般会計及び関連する特別会計で予算化している総事業費は67億円余である。②国県支出金21億7千万円余、地方債25億1千万円余、その

他特定財源2億2千万円余、一般財源17億8千万円余である。③地方債借入額の約8割が合併特例債と過疎対策事業債で19億6千万円余を計画している。④財務規則で定める事業実施計画に基づき進めているが、国庫補助金等の内示で見直しも想定される。平成28年度は279事業で総額132億円余を計画している。

問 本市の公有財産の評価について

公有財産について市民に公表し、今後、公会計制度の導入に向けて、本市の公有財産について財産評価を行うべきと考えるかがか。

答 管財課長 杉田公司
平成25年度末で公有財産の土地の筆数4千435筆、総面積251万7千649㎡、建物の棟数250棟、総面積19万1千33㎡を所有しており、公有財産の評価額を市民にお知らせするとともに、新しい公会計制度の導入に向けて、再評価も考える。土地の評価方法は固定資産評価額を基に算出する。建物の評価方法は建築からの経過年数を減価償却して評価額を算出する。今後の作業として、土地、建物の面積、及び筆数、

棟数も多いので逐次再評価を実施し、財産台帳の整備を進めていく。

公明党
大竹裕子 議員



(主な質問と答弁)

問 聴覚障害児に関する助成金について

早期に補聴器を装着することで、言語発達やコミュニケーション能力を高めることができる。また、難聴児の聴力向上による言語の習得は、平等に学び生活する権利を手に入れることにつながる。そのためにも補聴器の助成金制度は重要な支援策と言える。本市の難聴児の補聴器の助成金制度、また、学校の授業に対する支援策の取組について伺いたい。

答 市長 望月清賢
身体障害者手帳の対象に

至らない軽度、中等度難聴児に対して10種類の補聴器を対象とし、県と市で3分の2の助成を行っている。今後、授業の理解力をサポートするため字幕タブレット端末等の教材配備を検討していく。

問 生活困窮者自立支援制度の本市の対応について

①制度のきめ細やかな周知の点について伺いたい。②関係機関との連携体制を強化し、早期発見・早期支援の体制構築等自立相談支援事業（国庫負担率4分の3）の充実を図るべきと考えるがいかがか。③相談後の出口戦略として重要な任意事業（国庫負担率2分の1）、特に就労準備事業と家計相談事業の実施状況について伺いたい。

市長 望月清賢

①民生児童委員、区長に相談支援につながるようお願いをしている。安心して相談できる窓口にと努めており、今後はホームページやパンフレットで周知を図る。②3名による相談支援を行っているが、さらに関係各課からの紹介・アウトリーチにより相談支援につなげている。③山梨市社会福祉協議会に家計相談支援事業を委託している。また、就労準備支援事業を年度内を目標に開始できるように現在準備を進めている。

〈その他の質問〉●万力公園等の蚊による Dengue 熱対策について●市の鳥「ちどり」について●年金機構の個人情報

流出による振り込め詐欺防止対策について

新翔会

三枝正文 議員



〈主な質問と答弁〉

問 「稼げる農業」について

日本農業の方向性を示す「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定された。以下の内容について市長の見解を伺いたい。①食料自給率の見直しについて②農業所得倍増の目標について③農業改革を踏まえJAと一体となった支援について

市長 望月清賢

①食育や地産地消を進め食料自給力の維持向上を図る。②法人化など意欲ある担い手支援として「農業チャレンジ制度」の創設も検討し推進していく。③流通コストの削減など生産性向上に取組むため、「稼げる農業」の実現に向けJAと一体となって推進していく。

問 土砂災害から命を守るために

①危険地域に指定された住民

への周知徹底について伺いたい。②夜間等も含めた土砂災害対策について伺いたい。③本市の土砂災害対策のハード面の整備状況について伺いたい。

総務課長 古屋一彦

①災害・洪水ハザードマップを作成し、平成25年に全戸配布を行った。今後も出前講座等を実施し、予想される災害に合わせた対応の周知を図る。

②市の地域防災計画では、警報等各気象情報により、夜間においても職員が迅速に対応できるようにしている。今後は、さらに正確な情報収集のための検討等を行う。③市内において456箇所、土砂災害警戒区域が指定されているが、危険度等を勘案し優先順位を付けて砂防堰堤等の整備を進めていく。これまでに70箇所に着手している。

〈その他の質問〉●子どもの貧困対策について●水道を活用したマイクログ水力発電事業について

市民の会

小野鈴枝 議員



〈主な質問と答弁〉

問 山梨市駅南地域整備事業について

①都市計画道路山梨市駅南線についての進捗状況及び進捗予定について伺いたい。②駅南北自由通路及び駅舎改修の基本設計の内容についてと市民の声が反映されるのはいつの時期か伺いたい。

市長 望月清賢

①日川踏切から約720mの区間を第1期工区として、平成25年の秋から用地交渉を始め昨年度まで24%の事業進捗率である。本年度は県予算がかなり少ない状況であるので、計画通りに事業が執行されるよう県に強く要望するだけでなく、6月15日の全国街路事業促進協議会において決議表明を行い、県選出の国会議員へ要望活動をしてきた。②駅南北自由通路及び駅舎改修の基本設計では、駅の地形的特徴である線路のカーブや南北の高低差、JRの既存施設などを考慮し通路の延長・幅・高さ等を検討してきた。市民の皆様の声については広く意見を聞く機会を10月頃までに設け、できる限り実施設計へ反映させていく。

問 空き家対策の特別措置法に伴う、本市の対応について

山梨県の空き家率は22%と全国ワーストとのことで、県と市町村は先月、情報を共有して対策を進めるための連絡調整会議を設立したとあるが、本市での状況と対応について伺いたい。

建設課長 清水一彦

現在、人口減少や建物の老朽化等を背景として、空き家が全国で820万戸に及び、防災や防犯、景観面等の悪影響が問題となっており、本市においても増加している状況である。山梨県の空き家率は22%と全国ワーストで本市も17.1%である。今後は空き家対策庁内連絡調整会議設置要綱を策定し、今年度までに空き家に関する台帳の整備を実施する計画である。

〈その他の質問〉●国保医療制度改革法が施行されたが、本市におけるこれからの国民健康保険について

常任委員会の審査

今定例会の各常任委員会は6月22日、23日に開催され、付託議案について慎重に審査

が行われました。質疑の要旨（抜粋）は次のとおりです。

総務

○議案第58号「平成27年度山梨市一般会計補正予算（第1号）」の関係付託部分について

問 千鳥のモニユメントの除幕式の内容について伺いたい。また、当初予算における単価が比べて、補正予算における単価が高いようであるが、理由を伺いたい。

答 モニユメントは4カ所に設置するが、そのうちのひとつを市民会館の敷地内で差出の磯がよく見える場所に設置することとし、除幕式の会場にしたいと考えている。式典は、琴などによる邦楽の演奏を行うなど、古今和歌集の世界にふさわしい演出を考えている。モニユメントの単価の差については、石材や経費等の高騰によるもので、再積算の結果である。

問 ふるさと納税が好調であるが、現在までの状況を伺いたい。

答 6月19日までに2千456件あり、納税額は3千万円を超えている。秋以降の特産品の確保が課題である。



総務常任委員会での審査の様子

総務常任委員会

委員長 大竹裕子

副委員長 三枝正文

委員 古屋忠城 根津和博 深沢敏彦 吉田昭男

建設経済

○議案第58号「平成27年度山梨市一般会計補正予算（第1号）」の関係付託部分について

問 峡東3市のワインリゾート構想の内容について伺いたい。

答 現在、観光客の動態が富士山効果で富士北麓地域に集まっている。ワインリゾート構想は、峡東3市がワインや温泉・果樹等の共通の観光資源を使い、富士山から峡東地域へ宿泊を伴う周遊旅行に求めてもらうための構想である。

問 強い農業づくり交付金事業はどのような内容か伺いたい。

答 平成28年度の桃の出荷に間に合うように、加納岩・後屋敷・日川の支所で行った共選を加納岩支所へまよめ、販売の効率化を図るため光センサー選果機の導入・集出荷施設の整備を行う。また、葡萄の共選は日川支所へまよめ、選果施設の充実を図る。

◆「ワインリゾート構想」に基づき、峡東3市が連携して周遊ルートを確立すること。

◆後屋敷共選所及び日川共選所を加納岩共選所にまとめることにより、出荷時間が通勤時間や通学時間と重なるため、安全面が懸念される。市として安全対策を講ずること。

現地調査として、水口配水池のマイクロ水力発電の視察を行いました。



マイクロ水力発電視察の様子

建設経済常任委員会委員会
委員長 古屋弘和
副委員長 矢崎和也
委員 土屋裕紀 村田 浩 大村政啓 雨宮 巧

教育民生

○議案第58号「平成27年度山梨市一般会計補正予算（第1号）」の関係付託部分について

問 補正予算の内容は、環境センター設備の修繕とのことであるが、平成29年度から、ごみ処理施設が笛吹市境川へと移転する。これに伴い、中継施設についてどのように考えているのか伺いたい。

答 現在、ごみ焼却場では一日約100台の利用がある。ごみ焼却場の粗大ごみ等の受入れが終了すれば、境川のごみ処理施設を利用していくこととなるが、境川の施設まで行かなくても済むような施設の設置場所を市内で慎重に検討している。なお、設置箇所数については、当面1箇所を考えているが、その後は検討していく。

問 学力向上フォローアップ事業について、県からの委託金は今年度だけでなく継続していくものなのか。また、近隣市の状況と現状について伺いたい。

答 県の委託を受けて実施するのは平成27年度のみである。ただし、一年のみで効果は期待できない。県の予算的な部分もあるが、少なくとも3年位は続けていきたい。近隣市の甲州市においては、昨年度から実施しているが、今年度は規模を縮小させ、市の予算を計上し継続している。

現地調査として、山梨南中学校エアコン設置工事現場、学校給食センター建設候補地の果樹試験場跡地、市民会館改修等に伴う物品の保管場所等としてムカワホーム跡地の視察を行いました。



ムカワホーム跡地の視察の様子

教育民生常任委員会委員会

委員長 古屋雅夫

副委員長 武井寿幸

委員 木内健司 乙黒泰樹 飯嶋賢一 小野鈴枝

